

## 事業の基礎情報

|          |                                                                                                                                     |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施主体     | 静岡鉄道株式会社                                                                                                                            |
| 事業実施地域   | 藤枝市                                                                                                                                 |
| 共創の類型    | ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創 ・ 官民共創                                                                                                           |
| 他分野共創の類型 | ・ 商業 ・ こども・子育て ・ 観光・まちづくり ・ スポーツ                                                                                                    |
| 共創パートナー  | 静岡鉄道株式会社、静鉄タクシー株式会社、藤枝タクシー株式会社、志太交通株式会社、しずてつジャストライン株式会社、藤枝地域活性化推進協議会、一般社団法人SACLABO、有限会社魚時、エスピートム株式会社、株式会社トヨタレンタリース静岡、株式会社藤枝MYFC、藤枝市 |
| 運行形態     | AIオンデマンド交通                                                                                                                          |
| 運行主体     | 静鉄タクシー株式会社、藤枝タクシー株式会社、志太交通株式会社                                                                                                      |

## 取組の概要

### （現状の地域課題と事業目的）

【地域課題】：公共交通の利用者減少及び、人材不足等による交通における利便性が低下しており、地域住民及び観光客などへのさらなる移動支援が求められている。

【事業目的】：A I オンデマンド交通の導入により、地域における交通の利便性を高めると共に地域企業との連携を図り、地域交通の維持・活性化を図る。

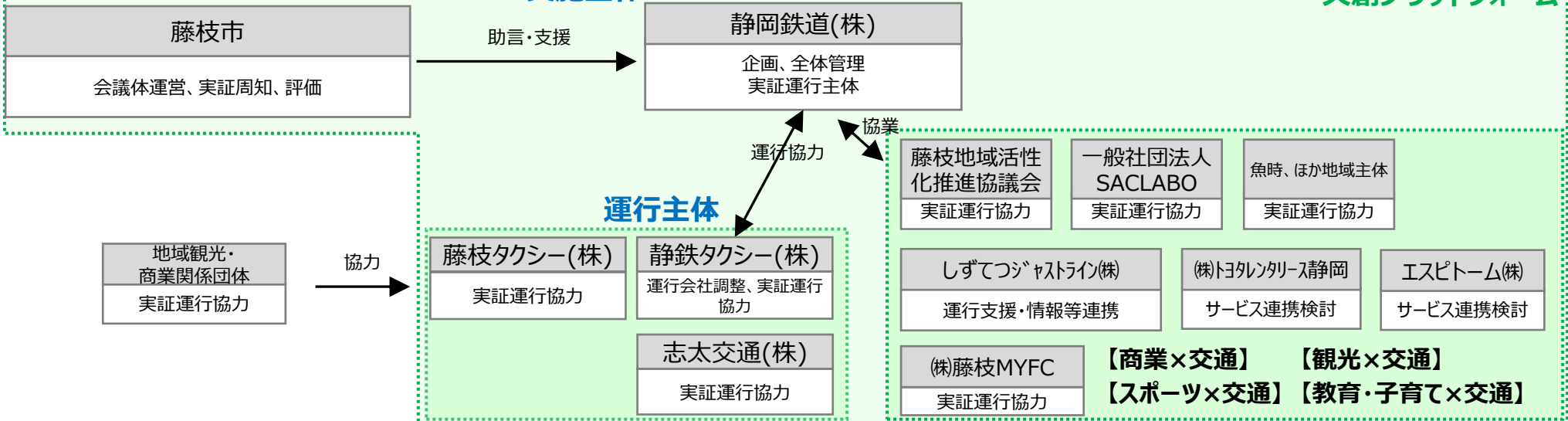
### （事業の概要）

行政や多業種、交通モード間で構成した共創プラットフォームにて推進し、地域交通の維持・活性化を目指す。藤枝市立地適正化計画においてDID内に定める「都市拠点」においてAIオンデマンド交通の実証運行を実施し、地域商店や飲食店、サービス事業者との連携強化を図るほか、観光、スポーツとの連携、部活動の地域連携・地域移行に伴う移動支援などを実施する。また、これらに加え他の公共交通との連携も視野に公共交通の利便性向上を図る。

### 事業の全体像・共創の仕組み

#### 実施主体

#### 共創プラットフォーム



### 取組の詳細

#### (地域の関係者との連携・協働)

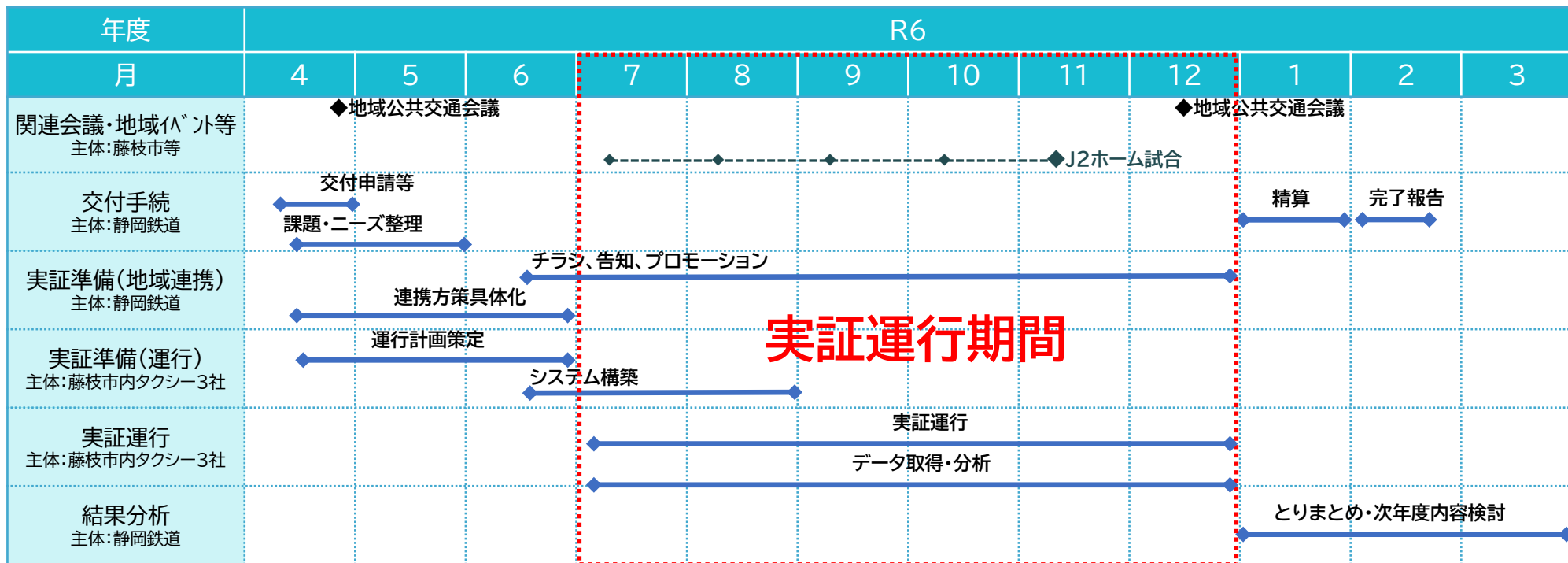
商業施設や各店舗への送迎や、デジタルクーポン等を活用した取り組みのほか、**地域イベント、観光イベントなどとの連携**を行い相互送客を目指し地域活性化を図る。教育・子育て支援では、**部活動の地域連携・地域移行に伴う移動の支援策**を検討し、子どもたちが継続してスポーツや文化に親しむ機会を確保できるよう支援を行う。スポーツ連携では、**サッカーJ2の藤枝MYFCと連携**。その他、**地域の公共交通との連携**も視野に公共交通の維持、活性化を図る。

#### (実証事業により見込まれる効果)

AIオンデマンド交通は、商業施設や各店舗への送迎やイベント等での可変的な対応など地域の細かな移動需要を取り込むことが可能であり、地域の経済活動との連携が容易である。地域の移動における利便性を向上させ、地域住民はもちろんのこと、車を持たない地域外からの転入者や旅行者などへの支援としても有効であり、地域における移動総量の増加が見込め、地域公共交通の底上げと来街者・市民の消費額の拡大を共創により実現することができる。

## 取組の詳細

### (事業実施手順・スケジュール)



### (補助事業実施後の予定)

地域商店や飲食店、サービス事業者との連携強化を図り、収益確保を図ると共に、まちづくりに合った交通モードの検討を進める。